

2024~2025年度クラブ目標

『思いやりがある 感謝のロータリー』

創立1986年



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘  
幹事 十文字 光伸

## 第1825回例会

令和6年10月10日 (18:30~19:30)



○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 佐藤弘様
- 白河JC専務 片桐伸太郎様

○スマイルBOX

- 阿部克弘会長 (本日は白河JC理事長の吉成茂様、専務理事の片桐伸太郎様そして入会予定者の佐藤弘先生、例会にお越し頂き有難うございます。吉成様卓話有難うございました。)
- 十文字光伸幹事 (本日は吉成茂様、卓話ありがとうございます。)
- 藤田龍文会長エレクト (誕生・結婚祝い頂きありがとうございます。結婚30周年になりました。これからも、見切りつけられないように精進します。)
- 中目公英会員 (10月には、結婚記念日と誕生日と、ダブルでお祝いをいただき、ありがとうございます。)
- 鶴丸彰紀会員 (結婚祝いのお花が当日に届きました。とても可愛いお花で、すっかり記念日を失念していた私は、例年以上に助かりました。会員皆様始め、親睦委員の皆様、ありがとうございます。)
- 永野文雄員 (JC理事長・吉成茂様卓話ありがとうございます。佐藤弘会員入会おめでとうございます。8日に結婚記念日のお花いただきました。ありがとうございます。今年で53回目です。)
- 渡部勝也会員 (10月26日で55回目の結婚記念日を迎えます。そして10月1日にやっと81歳になりました。最近物忘れが多くなりました。その節には悪くからず。)
- 関谷亮一会員 (吉成茂JC理事長卓話ありがとうございます。先週職業奉仕の為欠席致しました。)
- 金田昇会員 (吉成・JC理事長卓話ありがとうございます。先日の米沢中央Rとの女性会は有意義でした。)
- 池田浩章会員 (白河JC理事長・吉成茂様お久しぶりです。卓話お疲れさまでした。専務片桐様いつもお世話になっております。佐藤弘様ようこそ。)

【今週の仮メイクアップ会員】

●10月1日 米沢中央RC交流会

青木大、大竹憂子、長克則、前原俊治 十文字光伸  
宮本多加夫、運天直人、成井正之、吉野敬之、高畠裕  
堀田一彦、永野文雄、佐藤幸彦、吉成真五郎、遠藤敦  
金田昇、矢田部錦四郎、山口治、阿部克弘、吉成茂、  
沼田重一、村上堅二、諸橋和典、藤田龍文



10月10日  
~本日のメニュー~  
・野菜サラダ・季節の茶碗蒸し  
・海老と秋野菜の天ぷら盛り合わせ  
・芋汁・白飯・香の物  
・プティケーキのフルーツ

▶第1825回例会出席状況

(R6年10月10日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	71名
Ⓒ ①の出席者数	24名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	15名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	39名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	67
⑩ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	58.2%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

阿部克弘会長



皆さん、おばんでございます。本日もお忙しい中、例会にご参加をいただきまして誠に有難うございます。

それでは本日のお客様をご紹介させていただきますと思います。先ず白河青年会議所理事長・吉成茂様、同じく専務理事・片桐伸太郎様、そして入会予定者の佐藤弘先生です。清作先生のご息子さんでございますので、皆さん宜しくお願ひしたいと思ひます。

さて10月6日の日曜日は米沢中央ロータリークラブさんからのお誘いで、女性同士のBBQに参加してまいりました。場所は米沢にあるグランピング施設のルーラグラン ソラシタという所でした。

米沢さんからは、先ず齋藤榮助パスト会長、平山順一直前会長、吉澤会長、鈴木丈教会員。女性は遠藤優子幹事、遠藤啓子会員、川島栄子会員、熊坂美樹子会員が参加していただきました。こちらは金田ガバナーノミニ、シスター委員会から兼子会員、女性は大竹優子会員、根本あゆみ会員、大住由香里会員、齋藤 愛会員、そして十文字幹事と私とで参加してまいりました。私の女房とうちの愛犬も一緒に行きましたが、その施設はペット禁止ですから、女房と愛犬は市内観光をして最後に少しだけ女房だけですが参加させていただきました。

今回の経緯はお互いのクラブの女性会員で親睦を図りましょうという事で、遠藤優子幹事から大竹会員に電話がありました。最初は女性委員会でもなく愛好会でもないのお断りをしようと考えていましたが、せっかくのお誘いですので当然プライベートなものですから会費等は自前と考えておりました。大竹会員も大変ご苦労されシスター委員会に相談して理事会で交通費だけご負担いただくことに同意をいただきました。米沢さんも委員会になっている訳ではないので、わがクラブと同じで今後いろいろ議論をしてゆかなければなりませんし、西クラブとしても次年度・次々年度に向けて協議していただければと思っております。

ちなみに次の日の夕方にテレビユー福島のステップという番組を見ていたら、何とルーラグラン ソラシタが放送されておりました。前日にそこへ行ったのでちょっとうれしい気持ちになったので、それが有料なのか無料なのかは分

かりませんが、直ぐ吉澤会長と鈴木会員にお知らせをしたところでございます。

今後、2回・3回と女性同士の集まりを開催できればと私自身は思っておりますが、まあいろいろ協議をしてゆかなくちゃならないところがありますので、仮称ですが女子会に向けて頑張っていたいただければと思ひます。

さて今日はわが西ロータリークラブのメンバーでもあります吉成 茂さんの卓話をいただきますが、最初案内が来たときに吉田 茂様とあったので第45代内閣総理大臣と同姓同名の方がお越しいただけるのかなと思っておりますら間違いだと連絡が入りましたのでそうだよなと思ひながら楽しみにしておりました。

ちなみに私も24歳の時、昭和57年7月1日に福島J Cに入会させていただき11年間くらい活動をしました。私の場合は自分から手を挙げてやらせてくださいと言ったので、推薦人がおりませんでした。やはり2人必要だったので現役メンバー150人とOBメンバー150人を見ましたが全然知っている人がいませんでした。いわゆる雇われ推薦人2人を指名して貰いやっと入会する事ができたという経緯です。その当時は自分で手を挙げたので途中やめる訳にもいかず、場違いなところに入ってしまったなどの思いがありました。でもやはり途中何度も辞めたいと思ひましたが、辞めちゃうと3年間その推薦人の方の推薦権がなくなると聞いたので歯を食いしばって頑張りました。あとで聞いたら3年ではなく2年間だったとの話で、その後はずっと続けられました。

ロータリークラブも誰からもお誘いを受けなかったのが自分から入りたいと入会したところなんです。やっぱり2人の推薦人が必要なので当時の会員拡大委員長と副委員長の前原パスト会長に推薦人になっていただき入会できました。前原会長の時に幹事をさせていただき何とか恩返しできたかなと思っておりますが、やはり地元ではないことが大きいのかとの思いは今もあります。ですから逆に皆さんが羨ましいと思ひます。私からすれば誘ってもらえるだけでも有難いという気持ちですね。

今私が住んでいる地区においても同じです。よそ者という扱いになっており2回ほど選挙で排除されました。1回は当選できましたが。

白河西ロータリークラブには佐川京子さんとか高島裕さんが市議会議員で頑張っておられますが、私も選挙は1勝2敗で何とか頑張っておりますが、地元じゃないからと聞いた時には大変ショックを受けて寂しい思いをしたので、私も

今以上に頑張りますのでぜひとも地元の方には逆にもっと頑張っていたいただければと思っております。

11月3日は地区大会です。人数はまだ分かっておりませんがまだ参加者が少ない様です。地元の金田さんが西クラブから初めてガバナーで輩出されるので盛り上げるためにも、もっと多くの会員さんに参加をしていただかなければならないという話をして会長の時間を終わりたいと思います。

吉成さん卓話を楽しみにしておりますので、どうか宜しくお願い致します。以上です。有難うございました。

程、吉成さん、卓話を楽しみにしておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。以上です。ありがとうございました。

### ■幹事報告 十文字光伸幹事

- 須賀川ロータリークラブ会長 須田智博：年次計画書の送付について
- ガバナー早川敬介：2024-25年度地区大会ポリオチャリテー親善ゴルフ大会組合せ表
- 米山記念奨学会委員会推進委員長 鎌田考太郎：米山記念奨学生卓話派遣の件
- 日本事務局 財団室：財団室NEWS 2024年10月号
- 規定審議委員会委員長 芳賀裕：2024年決議審議会の決議案について
- ガバナー早川敬介：世界ポリオデーフォトコンテスト応募のお願い
- 日本事務局業務推進室：地域社会の経済発展月間 リソースのご案内
- ガバナー事務所：2024年10月のレートについて
- ローター財団委員長 林克重、グローバル補助金委員長 宍戸宏行：グローバル補助金ゼミナール開催（通知）
- ガバナー事務所：【再送】ローター・リーダーシップ研究会（RLI）第7期パートII開催について
- 白河ユネスコ協会会長 小野利廣：2025年度東北ブロックユネスコ活動研究会福島大会in白河第2回実行委員会の開催について（通知）

### ■各委員会報告

#### ○親睦活動委員会

山縣栄寿委員長

##### 【結婚記念日】

渡部勝也会員、永野文雄会員、富永章会員、金田昇会員、池田浩章会員、中目公英会員、大竹憂子会員、藤田龍文会員、鶴丸彰紀会員、諸橋和典会員、鈴木信教会員、渡部則也会員、車田裕介会員、青木大会員、十文字光伸会員、白岩修一会員



##### 【誕生日】

渡部勝也会員  
中目公英会員  
吉野敬之会員  
鈴木孝幸会員  
藤田龍文会員

### ■本日のお客様

佐藤弘様



皆さん、こんばんは。先程ご紹介に預かりました入会予定者となります佐藤弘と申します。父は佐藤清作ということで、先月退会届で出させていただいて代わりというには荷が重いんですが、本日お客様ということで参加させていただきました。なにぶん人前で話すの苦手なものですから、あまり話すこと考えてはいないんですが、年齢は46ということで同級生は今日会場にいる渡辺道也君と永山竜太郎君、同級生なものですから、誘われたところもありますし同級生も近いので、なるべく後で入って後輩になるよりは今は今近いところに入ったほうがいいかなと思ひまして入会のほうさせていただきました。居川先生、同業者ということで誘われたという経緯はあるんですが、居川先生のほうに強引ではないんですが誘われたということでもありますので、会った際には快く入会しましたと伝えていただければと思ひます。入会した経緯は先々週ですね、ちょっと会のほうありまして、会始まる前に立ち話でなんか入会するんだったらこの場で電話するぞと言われて、あっ電話してどうぞと言われたんですけども。まあ、父のほうもお世話になった経緯もありましたので、まだ若輩者ではありますが誠心誠意尽くしていきたいと思ひますので、皆様これからよろしくお願ひいたします。

## ■本日のプログラム

### ○公益社団法人白河青年会議所 理事長吉成茂様



改めまして、皆様こんばんは。わたくしは公益社団法人白河青年会議所第66代理事長の吉成茂と申します。本日はどうぞよろしくお願ひします。本日、西ロータリー様の例会にお招きいただきましてありがとうございます。不慣れな部分がございますけれども、温かい目で見ただけならばなというふうにも思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。本日、白河青年会議所の理事長として呼ばれたところでありましたので、スクリーンにもあるように「白河JC、これまでとこれから」を私のほうから説明させていただきたいと思ひます。本日のレジュメですが、最初が自己紹介。その後、白河JCのこれまでの軌跡、スローガン、人生一度、これからのJC、そして最後にというふうになっております。簡単ではございますが、私の自己紹介をさせていただきます。吉成茂、生年月日1986年7月22日。職業が不動産テナント賃貸業を行っております。趣味は、ゴルフ、サッカーでして、白河青年会議所のこのJCの入会年度は2015年入会となっております。簡単ではございますが、年表を作らせていただきました。吉成茂、「北白川株式会社」代表取締役社長、かに座のRhマイナスB型です。白河生まれ白河育ちでして、父母兄弟4人です。学歴ですけれども、カトリック幼稚園、白河第二小学校、みさか小学校、白河第二中学校、白河実業高校、最終学歴は城西大学2009年卒業となっております。この2009年の大学卒業してからは、「テレメディア東北」という会社に入社いたしました。そちらでは、携帯電話の販売関係をやってまして、おそらくその時に先輩たちにもお会いしたのかなというふうにも思ひます。2012年に1回目の結婚をしております。2013年に「テレメディア東北」を退社しております。こちらは父が、そろそろ「北白川株式会社」に戻らないかというふうな話がありましたので、その時に「北白川株式会社」に入社をしまして、専務取締役としてやっております。2015年に父が他界しまして、同年社長を就任しております。その時に、先輩たちに誘われて白河青年会議所に入会しております。2019年に離婚をしまして、2020年に再婚しております。2024年に現在に至るわけでございます。それで第66代理事長をさせていただいております。次に、「白河JCのこれまでの軌跡」ということで、正直白河青年会議所の先輩方々多く

いらっしゃいますので、私からの説明というのがおこがましいのですが説明させていただきます。設立年月日は、1959年7月18日。認証番号は、全国で166番目です。2024年の時点では671ロムございます。このロムというのは、青年会議所の数です。日本に今、671青年会議所がございます。会員が24146名います。この白河JCのこれまでの軌跡ですけれども、1959年から1978年。これ正直先輩方のほうがわかっているとは思ひますが、私の印象に残っているのが1965年白河インターチェンジ誘致運動。1971年、東北新幹線新白河駅誘致運動というのが私はお話を聞いたことがあるかなというところでございます。続きまして、1983年から1996年、この1994年のアルミ缶回収によるマングローブ植林事業というのが、吉田充先輩が委員長で父が理事長の時に行ったと聞いております。続きまして、1997年から2003年。1997年に福島ブロック大会を白河で行い、直近では2020年に福島ブロック大会イン白河を行う予定でしたが、新型コロナ感染によりこちらは中止になっております。2004年から2011年ですが、私が知っているのが2008年の第1回大昭和まつりです。こちらが10年間約開催され、2018年に終了いたしました。直近ですと、この2012年から2023年ですが、2018年に60周年記念事業、ネクスト白河、創立60周年記念式典を行ってございまして、そして昨年2023年に65周年記念事業、65周年記念式典を行いました。65周年記念事業の白河JCゴルフ選手権は私が企画室担当副理事長として企画提案しました。その時に、多くの方々にご来場いただきましてご参加いただきまして、誠にありがとうございました。私の中で白河JCのこれまでの軌跡を、初期、中期、近年で分けさせていただきました。まず、初期というのが1959年から1980年頃。組織作り、定款、規約の整備など、組織計画に向けた骨組みの運動をされていたのではないかなと思ひしております。続きまして、中期。1980年から2000年頃。具体的な町作りに向けた運動。他地域との積極的な交流が盛んに行われてたんじゃないかなというふうにも思ひます。近年ですと、2000年から現在に至る訳なんですけど、地域を牽引するリーダーとしての自負。次世代を担う子供達や若年層に向けた事業展開。これはどちらかという一人一人個人が成長して、町のためというように強く思われてる感じかなと思ひます。「育ロム」といい、女性男性関係なく子育てや活動しやすい環境を整えるなどを意識しながら活動運動してるように最近はおもっております。

す。3番ですがスローガン。こちら私が今年度掲げさせていただいたスローガンなんですが、「人生一度 成功ではない挑戦しよう 白河J.C」こちらを2024年度のスローガンで掲げさせていただきました。こちらの意味というのが、この一度しかないこの人生を今を一生懸命生きようという思いを込めました。今、現役のメンバーなども役職などお願いをしても、やっぱり正直やりたくないという声が多くあります。しかし、私がよく言うのがやらない理由を探すのではなく、やれる理由を考えようというふうな話をします。そして、成功を目的ではなくまず挑戦しようという気持ちで取り組みましょうというふうな話をします。その気持ちを持ちながら、今年の1月から本日の10月までどのように行ってきたかを話をしたいと思います。まず初めに、1月の新年会を行いました。これちょっと事業報告みたいな感じになってしまうんですけども。2月には定例会では浪江出身の公益社団法人日本青年会議所第69代会頭、石田全史様をお招きし次世代リーダーとはどのようにすべきか等の定例会を行いました。続きまして、3月定例会には白河市長鈴木和夫様をお招きし、白河のこれからをお話しいただきました。4月定例会には、元福島テレビアナウンサー、幡谷明里様をお招きしコミュニケーション能力のアップ、話し方講座を学ぶ定例会を行いました。同月4月には、「みらいく」あと「10年後に届くハガキ発送事業」。この「みらいく」というのは、4月から始まり約7月ぐらまで定期的に開催をさせていただきました。この「みらいく」というのが各小学校で人気がありまして、来年もやってくださいですとか、ずっと続けてくださいという声をいただいております。この日本の中での青年会議所の中で、この「みらいく」活動しているのは白河青年会議所のみとなっております。要は、他の地域からどういうふうにするんですかというふうな問い合わせも多くいただいております。続きまして、この「10年後に届くハガキ発送事業」ですが、先に話した大昭和まつりのブースにて10年後に届くハガキ発送事業がありました。今はその10年前にいただいたハガキを現役のほうで郵送するという事業を行っております。続きまして、5月定例会はフードロスを考える定例会を行いました。6月定例会では、石川町議会議員の乾初美様をお招きし、女性ならではの視点で、地方議会、働き方についてのご講演をいただきました。そして同月の6月ですが、第1回目の広域事業として「しらかわ食キャラフェスタ」を開催

いたしました。白河地域5市町村内の食の魅力を感じてもらい、ゆるキャラに来ていただくことで多くの地域の方々にご来場いただきました。7月の定例会と9月の定例会なんですが、こちらは現役のメンバーが頑張っていた定例会となっております。7月には「居川会計」の居川陽明君による「白河J.Cの会計について」の講義をしていただきました。恥ずかしながら理事長として私のほうがわからないところがあったので学びのある定例会でした。そして9月には、南湖神社の中目瑞英君が講師を務め、「渋沢栄一と松平定信の思想とその繋がり」を題として、昔の経済と今の経済の違い、思想を詳しく講義をいただきました。そして先月9月には、第2回広域事業となる「防災フェスティバル」を行いました。あいにく雨の中の開催ではあったんですが、多くの方にご来場いただき防災を意識する重要性をイベントを通して体験をしていただきました。そして最後に10月事業「しらかわはしご酒」ですが、こちらは白河地域の食、街並みの魅力を県内外に知っていただき、白河の良さを感じていただくことを目的としております。前売りでチケット制となっておりまして、三千円のチケットを買っていただいて当日10月20日にご参加いただくような事業となっておりますので、是非皆様ご参加いただければというふうに思います。4番、これからのJ.Cはどのようにしていくべきか。どのような課題解決が必要かを私のほうから説明させていただきます。どのような運動を展開していくべきか、地域を変える存在となり得るか、いかに迅速に情報や課題を取得し、それらを生かしていくか。これらを解決する方法として60周年の時に、「しらかわ未来ビジョン」というのを掲げさせていただきました。町、人、夢を項目に置き一つ一つを解決することで、かけがいのない白河地域を作れるのではないかと考え運動活動をしております。まず、町というのは歴史や風土を大切に作る地域づくり。歴史的な建造物や観光名所、特産物の地域資源を掛け合わせた新たな地域価値を見出すことが重要じゃないかと。また、時代に合わせた価値観や付加価値のもと、様々なものを組み合わせる魅力ある町づくりを展開することが必要ではないかというふうに考えております。そして、夢ですね。去年も私がゴルフ事業をやりましたが、スポーツによる地域産業の活性化。スポーツツーリズムによる観光産業の活性化。施設の充実による関係人口の拡大。こういったスポーツを通してですとか、地域を巻き込みながらブランディン

グしていくことで、夢のある未来を描ける夢のある地域を作ることができるのではないかと、いうふうに私たちは運動活動をしております。そして、最後になりますが、最も重要なことは私の中で会員拡大だと思っております。先程も未来ビジョンの人の中にも入りますが、会員拡大こそが青年会議所運動の根源の一つだと思っております。今までわたくしがいろいろお話をさせていただきましたが、すべてにおいて会員がないと実現できません。そして、会員一人一人の成長が町づくりに大きく影響していくんじゃないかというふうに思っております。白河青年会議所の発展なくして白河地域の発展なしといった気概を強く持って運動活動を今後も展開してまいりたいと思っております。簡単ではありますが、私からの話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

### 【第5回理事会】

令和6年10月10日(木) 午後19時30分(例会終了後)

#### 審議事項

(1)新入会員承認の件 (近藤勝人様)

全員一致で承認

(2)親睦委員会

①クリスマス例会について

開催日時 令和6年12月19日(木)18時30分～21時

クランドエクシブ那須白河にて

会員5,000円、奥様3,000円、お子様無料

全員一致で承認

②2024～25白河西RC・JC・YEG交流コンペ懇

親例会予算について

例会費264,000円支出 委員会予算32,440円支出

全員一致で承認

#### その他

白河西RCと米沢中央RCの女性をメインとした交流会(女子会)について、全会員に案内を出したうえで、男性は先着5名のオブザーバー参加で今後進める形で話し合いが行われた

### ■米沢中央RC・白河西RC交流女子会

10月6日(日) 山形県のルーラグランソラシタ

米沢中央RC・白河西RC交流女子会 “芋煮会&BBQ”開催



### ■10月12日(土) 大玉CC

ポリオチャリティーコンペ

30位 成井正之会員

47位 堀田一彦会員

64位 齋藤愛会員

73位 中嶋一貴会員

74位 沼田重一会員

94位 運天直人会員

100位 長克則会員

101位 藤田龍文

